

平成 24 年度 ダイバータおよびPWI合同研究会 プログラム 7 月 18 日

- ・ 平成 24 年度第 1 回プラズマ物理クラスター・スクレープオフ層とダイバータ物理サブクラスター会合（世話人：大野、朝倉）
- ・ 平成 24 年度第 2 回炉工学クラスター・ブランケットサブクラスター会合（世話人：小西、秋場）
- ・ 平成 24 年度筑波大学プラズマ研究センターシンポジウム（世話人：市村）
- ・ 平成 24 年度双方向型共同研究「ガンマ 10 装置における炉壁材料の損耗・再堆積の研究とそのダイバータ開発戦略における位置づけ」会合（研究代表者：上田）

日 時：平成 24 年 7 月 23 日 13：00 ～ 17：40

7 月 24 日 9：00 ～ 17：30

場 所：筑波大学内・筑波大学自然 B 棟 119 講義室

http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_central.html

（キャンパスマップの左下の自然系学系の B という建物です）

7 月 23 日（月）

13:00-13:05 挨拶（今井・筑波大プラズマ研究センター長）

(1) ダイバータ・開放端磁場配位における非接触プラズマの研究の進展と課題

進行担当（朝倉）

13:05-13:40 非接触プラズマ研究と課題 大野・名大

13:40-14:15 デタッチメント領域におけるプラズマ診断法 ～ダイバータ模擬装置
MAP-II における開発事例～ 門・東大

14:15-14:45 LHD のダイバータおよび RMP コイル実験の概要 増崎・NIFS

14:45-15:10 トカマク・ヘリカル配位における非接触ダイバータプラズマ揺動 田中・NIFS

ブレイク

(2) 核融合炉における課題（指摘・提案発表）

進行担当（大野）

15:20-15:45 Li ダイバータのトリチウムバランスに与える影響 西川・九大

15:45-16:05 エネルギー変換装置としてのダイバータの課題 小西・京大

16:05-16:20 直線装置を含むパルス熱入力下ダイバータ表面損耗のその場測定 糟谷・
応用ながれ研究所

(3) ガンマ 10 研究における研究の進展と課題

進行担当（大野）

16:20-16:50 プラズマ研究センターのダイバータ模擬実験の現状 中嶋・筑波大

16:50-17:15 ガンマ 10 エンド部におけるプラズマ照射材料の表面分析 永田晋二・東北大

17:15-17:40 総合討論（今後の非接触プラズマ研究、ガンマ 10 を含む直線装置研究の
方向性など）進行：大野、坂本（中嶋）

7月24日(火)

(4) 国際・国内活動の近況と ITER タングステンダイバータ

進行担当 (榎枝・秋場)

- 9:00 -9:30 STAC での討論 鎌田・JAEA
9:30 -10:00 ITER ダイバータの R&D 進展 鈴木・JAEA
10:00-11:30 第16回 ITPA 会合 (本年1月) 報告と討論
上田・阪大、仲野・JAEA、芦川・NIFS、朝倉・JAEA
11:30-12:00 SA リサーチプランの進展と議論 進行: 仲野・JAEA、坂本・筑波大

昼食

(5) タングステン材の照射実験の進展とタングステンダイバータの課題

進行担当 (坂本)

- 13:00-13:30 原型炉におけるタングステン使用の影響 (中性子照射と崩壊熱、核変換)
染谷・JAEA (代読: 朝倉)
13:30-14:00 タングステン PWI モデリング進展 (タングステン損耗) 星野・JAEA
14:00-14:30 プラズマガンを用いた ELM 様パルスプラズマのタングステン材への照射実験
菊池・兵庫大
14:30-14:55 タングステン被覆接合低放射化フェライト・マルテンサイト鋼の材料特性 徳永・九大

ブレイク

進行担当 (上田)

- 15:15-15:45 LHD におけるタングステン研究の進展 時谷・NIFS
15:45-16:45 総合討論 (W 研究の課題、ITER の初期 W ダイバータ運転など)
進行: 上田

(6) 国際・国内活動の近況 (続き) と本活動についての議論

- 16:45-17:10 新テキストール協定・双方向性研究関連の進展 中村・NIFS (代読: 増崎)
17:10-17:20 合同会合・活動に関する議論 進行: 朝倉
17:20-17:30 2014 年 PSI 会議 (金沢) のアナウンス 増崎・NIFS、大野・名大